

京都老舗の会 NEWS LETTER

Vol.16



パネルディスカッションを開催
- 老舗のリーダーシップ論 -

京都老舗の会では、毎年経営の事例を学ぶ勉強会（パネルディスカッション）を開催しています。

今回は、伝統文化の発信や文化への支援など京都の企業経営者の多くに見られる文化的な教養を背景としたリーダーシップのあり方について学ぶため、石田結実氏（上羽絵惣(株)取締役）、竹田正俊氏（(株)クロスエフェクト代表取締役）をお招きし、お話をうかがいました。



01 上羽絵惣株式会社 石田 結実 (Ishida Yumi)

宝暦元年（1751年）から続く日本最古の日本画絵具製造販売元「上羽絵惣」の取締役。

一時店を離れるが、2005年から家業の再建を果たすため、実兄の上羽豊氏（現・上羽絵惣代表取締役）とともに、会社の経営を担う。伝統の技術を生かした新商品「胡粉ネイル」を2010年に発表し、多くの注目を集めている。

また、カラーコーディネーター・カラーセラピストとして講演やメディア出演も行っており、色の持つ魅力を伝えている。

02 株式会社クロスエフェクト 竹田 正俊 (Takeda Masatoshi)

2000年創業、光造形技術を使いロボットや自動車部品をはじめ、あらゆる分野の開発試作モデルの製造を手掛ける(株)クロスエフェクトの代表取締役。

2011年には株式会社クロスメディカルを設立し、術前シミュレーション用心臓モデルの開発に乗り出す。CTデータを活用し、患者ごとの正確な心臓モデルを作ることによって縫合が可能となるリアルな術前シミュレーションが可能となり、若手医師の育成等、医学界に絶大な効果を生んだ。